

あんまり無理はせ
んときなさい

虹のかかる午後。

俺はもくもくと煙突から湯気が出る街中の天然温泉
の

横の河川敷を歩いていた。

すると、水色のTシャツを着たランニングをする男と
すれ違った。

.....。

彼は1000キロ手前からここまで走ってきたのだ
という。

背中と額に汗はかいていたがあまり疲れていないよ
うで

だけど少し頬はこけていた。

「・・・・・・・・・・あんまり無理はせんときなさい」

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。